

②「補助金の活用事例」で、他者の状況を知ろう

もう一つ、オススメなのが「補助金の活用事例」です。このページでは、例えば、カフェを経営している方であれば、同じ業種の事例を検索してみると、「持続化補助金を使ってカフェに設備を導入して新しい販売方法に取り組んだ」といった事例を簡単に探すことができます。

非常に読みごたえがあるのは、この掲載事例が、なぜその事業者が補助金を活用しようと考えたのか、どのような経営課題があったのか、**申請にあたり支援機関とどのように計画を整理したのか**、そして補助金を使った後、事業がどう変わったのかまで紹介されている点です。

補助金活用事例を見ることで、「自社と似た事業者は、どんな課題に対して、何を目的に補助金を使い、その後どのように事業を伸ばしているのか」を知ることができます。

これから申請を考える方はもちろん、「何か新しいことに取り組みたいけれど、何から考えればよいか分からない」という方にも、経営のヒントになるページだと思います。



👉 ここまで3つの情報収集ツールを紹介してきました

これまで本連載で3つのサイトを取り上げてきました。



「こんな支援策があったのを知らなかった」「気づいたときには公募が終わっていた」とならないためにも、まずはこの3つをブックマークし、時々のでいてみるだけでも情報収集の第一歩になります。そして、気になる制度が見つかった場合や、「自社の場合は何が使えるのか分からない」という場合には、ぜひ商工会議所にもご相談ください。

🌀 経営耳より情報

「小規模事業者持続化補助金」の最新情報

先日、前回公募された一般型・通常枠「第19回」および創業型「第3回」の採択結果が公表されました。そして、次回公募となる一般型・通常枠「第20回」と創業型「第4回」は、2026年11月5日から申請受付が開始されます。

採択をつかむためには、自社の現状や課題を整理し、「なぜこの取組が必要なのか」「どのように販路開拓につなげるのか」を計画として具体化することが重要です。検討される場合は、早めに当所までご連絡いただき、申請の準備をしていきましょう。その際には、今回ご紹介した情報収集ツールを、ぜひお役立てください。

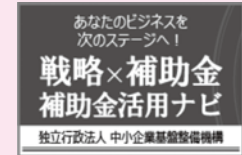
	前回採択率
一般型	47.6%
創業型	41.2%

※商工会地区、商工会議所地区合算

「こんな支援策があったんだ…」と後悔しない

補助金・助成金の情報収集はどうやる？

その③（最終回）
補助金活用ナビ



岐阜商工会議所 支援グループ
中小企業診断士
磯野 拓実

これまで本連載では、国や地方自治体の支援情報を探す「J-Net21」、国の支援施策をまとめて確認できる「ミラサポ plus」また自社の現状整理に役立つ「ローカルベンチマーク」についてご紹介しました。最終回となる今回は、中小企業基盤整備機構（中小機構）が運営する「補助金活用ナビ」をご紹介します。



出典：補助金活用ナビ（中小機構）トップページ（2026.8月末時点）

👉 補助金活用ナビを使ってみよう

「補助金活用ナビ」は、その名前のとおり、中小企業・小規模事業者向けの補助金に特化した情報サイトです。国の主要な補助金について、最新情報や制度概要、活用事例などをまとめて確認できます。いろいろな機能がありますが、特に便利だと感じているのが、「補助金スケジュール」と「補助金の活用事例」の2つです。

①「補助金スケジュール」を“一覧”で確認する

まず便利なのが、「補助金スケジュール」です。補助金は、公募が始まってから初めて知り、「締め切りまであと1ヶ月しかない！」と慌てて準備するケースが少なくありません。しかし、補助金の申請は想像以上に時間がかかります。補助金活用ナビでは、主要な補助金について「公募開始日」「申請開始日」「申請締切日」「採択発表日」が一覧で整理されています。

例えば、「今年は設備投資を考えている」「半年後に新しいサービスを始めたい」といった計画がある場合に、先の公募予定を確認しておけば、「この補助金を使うなら、そろそろ動き始めよう」と逆算して準備できます。

補助金は、締め切りを知るためだけでなく、「**準備を始める時期**」を知っておくことが重要です。申請する補助金の難易度にもよりますが、小規模事業者持続化補助金であれば、申請開始日の1.5～2ヶ月前には行動を開始すると良いと感じています。また、公募スケジュールは途中で変更されることもありますので、ご注意ください。